



ほんわ館だより

令和8年10月発行
第169号

中山町立図書館
開館 9:00～19:00
休館日 10/5.13.19.26



10月の展示コーナー



★おすすめコーナー ★児童書コーナー

『生き物と暮らそう』

★2階掲示板

『笑本(えほん)』

・絵本コーナー 『おかしをくれなきやいたずらするぞ』『おやつ』

・円形コーナー 『おりがみ紙 工作』 ・空中図書コーナー『日本絵本賞』

・小学生おすすめコーナー 『スポーツ』

今月のおはなし会は

10月17日(土)11:00～11:30

多目的室で行います♪



10月10日(土)『ほんわ館まつり2026』を開催します

開館15年
特別企画!!

「聞かせ屋。けいたろう」さんがやってくる!!



0～2歳向け読み聞かせ
10:00～10:30
場所:多目的室

3歳以上向け読み聞かせ
11:00～11:30
場所:多目的室

大人向け読み聞かせ講座
14:00～15:30
場所:児童書コーナー

好評につき第二弾

ワークショップ

くるくるレインボーを作ろう!!

13:00～13:45 場所:郷土コーナー
時間までにお越しください
参加費は無料です



＜お申込み不要、参加費は無料です＞

他にも「雑誌のリサイクル」「ブックカフェ」があります。詳しい内容はチラシ、ポスター、ほんわ館ホームページをご覧ください♪



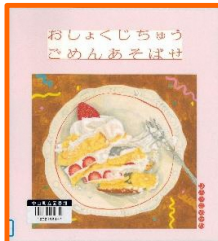
新着 最近入った本を紹介します

※ここに紹介した他にも
たくさん入っています

【児童書(えほん)】



◀(紙芝居)
『おつきさんみてる』
こがようこ // 脚本
山本 祐司 // 絵
童心社



◀『おしよくじちゅう
ごめんあそばせ』
はらぺこめがね //
作 絵
岩崎書店



◀『おばあちゃんの
あおいパラ』
由美村 嬉々 // 作
森 みどり // 絵
ポプラ社

【文芸書】書名	編著者名	【児童書】書名	編著者名
鋼鉄のレガシー	堂場 瞬一 // 著	ミュータント最強王図鑑	實吉 達郎 // 監修
誰何	伏尾 美紀 // 著	はじめての子ども手芸	日本文芸社 // 編
この家に生まれたことが失敗だった?	群 ようこ // 著	夢をかなえるゾウ1(子ども版)	水野 敬也 // 作
安恒	今野 敏 // 著	ひらめけ!算数ドカン!	リュ ギウン // 作
失くしても、また	小手鞠 るい // 著	なっちゃんとなつの空	深山 さくら // 著
暗殺の交響曲	中山 七里 // 著	【教養書】書名	編著者名
私の女の実	ハン ガン // 著	一冊でわかるロシア史	関 眞興 // 著
警察へ行こう	真保 裕一 // 著	東京デイズニシーパーフェクトガイドブック	デイズニファン編集部 // 編
元カレの名前なんて忘れた	青山 美智子 // 著	コロコロ毛玉日記	中川 いさみ // 著
したう	小野寺 史宜 // 著	とてつもなくおもしろい英文法の世界	時吉 秀弥 // 著
縁切りの宿	川越 宗一 // 著	大人のプラモデル入門	
作家・山崎豊子	山崎 豊子 // 著	乱読御免	今村 翔吾 // 著
ギャルにひかれて寺マルシェ	宮島 未奈 // 著	こわくない目の手術	浅見 哲 // 著
深川かたぎ	山本 一力 // 著	地球生まれで旅育ち	ヤマザキマリ // 著



本の歳時記



ー 読書週間、名作を楽しむ ー

本を読む良い季節になりました。10月28日からは読書週間も始まります。じっくりと名作を楽しむのはどうでしょう。世の中に名作と呼ばれる作品は沢山あります。なぜ名作なのでしょう。捉え方は様々ですが、単に人気があるだけではなく、時間を超えて読み継がれるだけの強い力を持っているようです。心に刺さる一文があり、それが人生の指針になった人や、読み終えたあとと世界の見え方が少し変わったと感じた人もいるでしょう。人の心を動かす普遍的なテーマを扱っているとも言われます。「愛」「孤独」「成長」「正義」などは、人間が生きている限り消えないテーマでもあります。今月は、名作と呼ばれる作品の中から3冊を紹介します。



『神様のカルテ』

『神様のカルテ』（夏川草介／著 小学館）

栗原一止は信州の病院に勤務する内科医。一般診療から救急医療までをこなす地域医療の現実の厳しさ。それでも仕事を続けるのは…。地方病院を舞台に個性豊かな登場人物たちが織りなす、いのちの物語です。単に「泣ける」、「感動する」というだけの作品ではありません。本作の続編が刊行されているように、著者の長年のテーマでもある地方医療という現実の厳しさと、人間の優しさの可能性を同時に描き切った作品です。



『かがみの孤城』

『かがみの孤城』（辻村 深月／著 ポプラ社）

中学1年生の安西こころは、同級生からのいじめが原因で不登校になり、家に引き籠もる生活が続いていた。ある日、自室の鏡が光りだし引きずり込まれてしまう。通り抜けた先の世界は、オオカミさまという狼面をつけた謎の少女が仕切る絶海の孤城。こころは、そこで似た境遇の7人の中と出会う。そして、秘めた願いを叶えるため、7人は城に隠された鍵を探しはじめる。孤独という普遍的テーマを扱っています。誰もが感じたことのある「居場所のなさ」が丁寧に描かれており、読後には「人に優しくしたくなる」変化が起きるかも知れませんね。



『容疑者Xの献身』

『容疑者Xの献身』（東野圭吾／著 文藝春秋）

天才数学者でありながらさえない高校教師に甘んじる石神は、愛した女を守るため完全犯罪を目論む。困り果てた草薙刑事が、いつものように友人の湯川に相談を持ちかけると、驚いたことに石神と湯川は大学時代の友人であった。当初は傍観していた湯川だったが、やがて石神が犯行に深く関わっていることに気づき、独自に真相解明に乗り出していく。トリックと人間ドラマが完璧に融合した完全犯罪と愛という強烈なテーマの作品です。読む者の倫理観を揺さぶりながらも、読後はしばらく沈黙してしまうほどの余韻が残ることでしょう。それにしても、もうガリレオの新たな活躍が見られないのは残念です。

ほんわ館で読まれています

『台所の手しごと』

（オレンジページ手しごと研究会／編 オレンジページ）



季節の恵みと向き合う時間を楽しんでみませんか？桜餅、とうもろこしご飯、ゆずジャム…。何気ない日常をちょっとだけ「特別な日」に変える台所の手しごとを、季節別に紹介します。

『ハヤブサ消防団[2]』

（池井戸 潤／著 集英社）



人生に絶望したひとりの女性が、幼い我が子を残し、川の水底へと向かった。消防団の一員として遺体の引き上げに関わった太郎は、町を揺るがす巨大な疑惑に巻き込まれ…。

『王国』

（湊 かなえ／著 マガジンハウス）



生まれ故郷の海を愛する母と、国際協力事業団で海を守る仕事に就く父を見て育った浜崎朔也。海洋学部で学び旅行代理店を経て、満を持してウェルネス・ツーリズムの会社「海の王国」を興すが…。

『永遠の記憶』

（東野圭吾／著 文藝春秋）



内海薫が刺された。犯人は70歳ほどの老人。飛び降り自殺を図るも失敗し、取り調べには黙秘を貫く。一方、湯川と草薙は、老人の持ち物を手掛かりに謎の扉を開き…。ガリレオ、最後の謎。